

アクセス

◆公共交通機関

- 名鉄三河線豊田市駅より
名鉄バス足助行き約45分 香嵐溪下車
- 名鉄豊田線浄水駅より
とよたおいでんバス百年草行き約60分 香嵐溪下車
- 名鉄名古屋本線岡崎駅より
名鉄バス足助行き約60分 香嵐溪下車

◆車

- 東海環状自動車道豊田助八ICより
国道153号足助方面に約15km
- 猿投グリーンロード力石ICより
国道153号足助方面に約9km



お願い

「足助の町並み散歩ナビ」は、足助の歴史的町並みの魅力を多くの方に知っていただくためのものです。足助の一般観光情報につきましては、足助観光協会発行の「香嵐溪・町並み散策地図」をご参照ください。

地図に掲載している個人住宅は非公開です。町並み散歩の際には、住民の方のプライバシーに十分配慮していただくようお願いします。

足助の町並みは、木造住宅が密集しています。町並み散歩の際には歩きながらのおタバコはご遠慮いただきますようお願いいたします。

発行者

豊田市教育委員会 教育行政部 文化財課 足助分室
愛知県豊田市足助町宮ノ後26-2 足助支所内
TEL:0565-62-0609 FAX:0565-62-0606
E-mail: bunkazai-asukebunshitsu@city.toyota.aichi.jp

平入や妻入が混在する町並み

街道沿いに平入や妻入の町家が混在する変化のある景観は、足助の町並みの特徴です。

敷地の規模や形状の関係から、間口が5間以下で敷地の奥行きが深い場合に妻入形式となる傾向が見られます。また、商業地としての需要が高まる中で、土蔵などを居宅や店舗に転用したとみられるものもあります。

足助の町家は、2階のちがいが高い平入2階建て形式が主流で、白漆喰で仕上げられた外壁とあいまって、重厚な景観をつくり出しています。豪壮な小屋組みは地域の豊富な木材と工匠の技術に基づくものです。



●深見家住宅とマンリン書店

しろろ 鍛葺き形式の主屋

上屋根と下屋根にわずかに段差をつけた鍛葺き形式の軒高の低い主屋が残されています。これらは安永4年(1775)の大火前の建物形式を伝える可能性が高いと考えられます。



●旧鈴木家住宅

川沿いの石垣・石組み階段と家並み

足助川沿いでは、幕末から近代にかけて川岸に石垣を築き、川に張り出すように座敷などが建てられました。石組み階段とともに、川との繋がりを映した景観をつくり出しています。



●真弓橋から見る川沿いの風景

街道脇の小路

敷地境界いっばいに土蔵や石垣が迫るように建ち、通りの向こうには山々を望む街道脇の小路は、街道沿いとは異なる通り空間を形成しています。漆喰塗籠の壁や下見板の仕上げに歴史が感じられます。



●マンリン小路